

福島県知事 殿

葛尾村の復興・再生を支える
道路整備の要望

令和2年1月24日

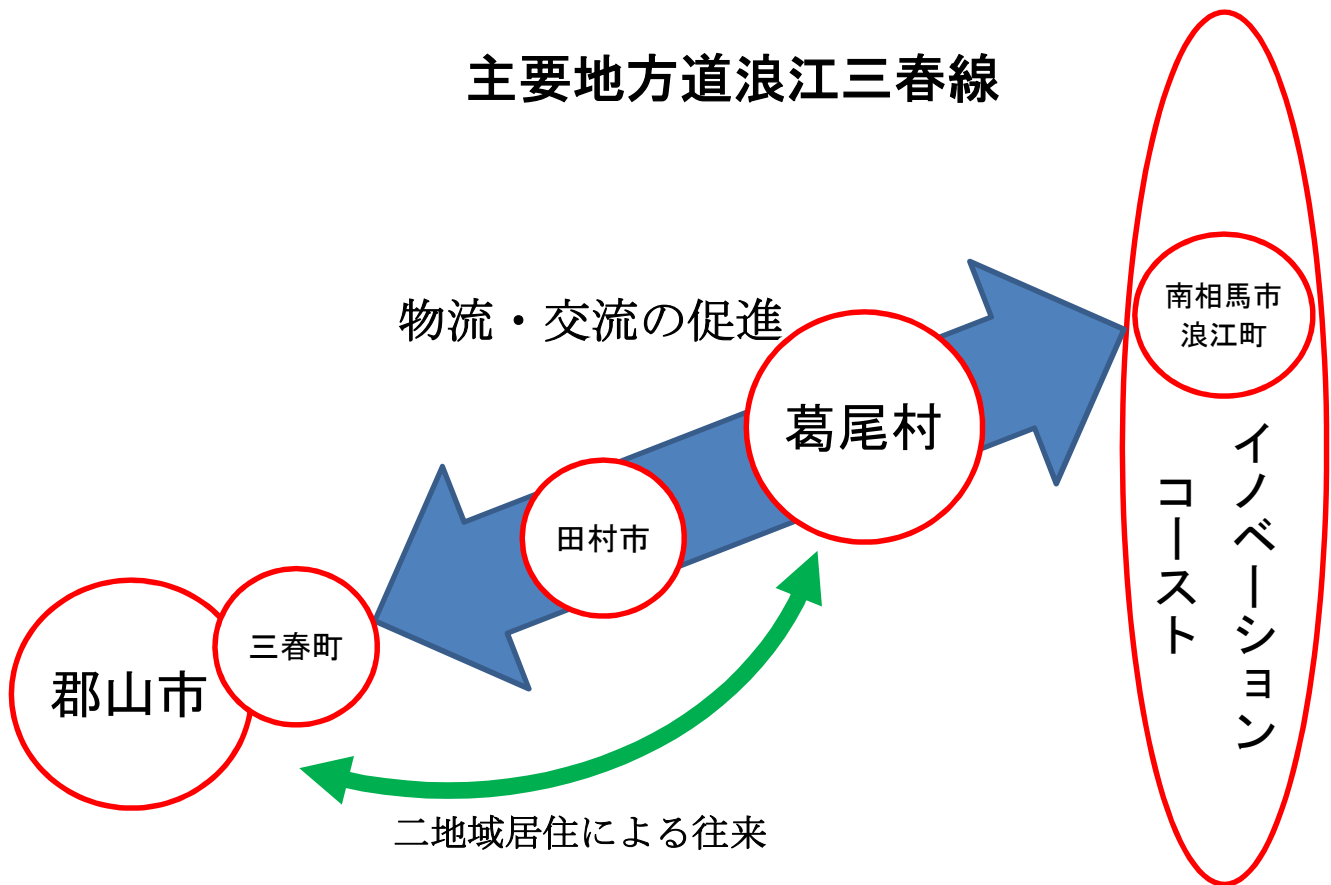
福島県双葉郡葛尾村長 篠木 弘
福島県双葉郡葛尾村議会議長 吉田 義則

『葛尾村の復興・再生を支える道路整備について』

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から8年10ヶ月が経過した今もなお、原子力災害は収束していません。葛尾村は、平成28年6月12日に一部地域を除く避難指示が解除され、村としてできる限りの努力を重ねており、住民が徐々に帰村してはいるものの、3年7ヶ月経った時点でも、帰還率は約27%に留まっています。

この間、2つの産業団地の整備が進められており、新たに誘致企業が立地するなど物流と産業活性、交流促進の観点から、また、商工業や観光などを始めとする今後の村の地域経済再生と復興のためには、交通網の整備が不可欠であり、これまで以上に重要性が増しています。とりわけ、村内を東西に走る主要地方道浪江三春線の整備は、中通りと浜通りを結び、避難先及び福島イノベーション・コースト構想促進を図る上で極めて重要であり、村の復興・再生に向け、村民にとっても救急搬送を含めて非常に重要な生命線となっていることから、次のとおり要望します。

主要地方道浪江三春線



1 復興を支える道路の改良・整備の促進

(1) 主要地方道浪江三春線の狭隘箇所の解消

産業団地整備を始め企業活動が促進されてきており、基幹軸道路として、物流、交流促進等による大型車の輸送などこれまで以上に道路の重要性が増していることから、主要地方道浪江三春線の次の狭隘箇所を解消し、大型車が安全安心に通行できるよう、整備を促進すること。

- ①・・・小出谷工区
- ②・・・湯殿工区
- ③・・・境ノ岫工区

(2) 主要地方道浪江三春線の急勾配箇所解消

主要地方道浪江三春線の鷹巣峠付近は、カーブがあり、急勾配であるため、冬期間の大型車の通行が危険な状態となっている。勾配を緩やかにすることで、冬期間の大型車の通行を安全かつ容易なものとする。

(④ 鷹巣峠工区)

(3) 主要地方道浪江三春線の「ふくしま復興再生道路」と同等の位置づけ

主要地方道浪江三春線は、交通の要衝である郡山市を中心とした県中央部と、福島イノベーション・コースト構想の拠点の1つである南相馬市や浪江町を最短で結ぶルートである。

同構想の促進を図る上でも、主要地方道三春浪江線は重要な路線であるため、「ふくしま復興再生道路」と同等の位置づけとし、重点的に整備を進めること。

2 一般県道落合浪江線の改良・整備の促進

一般県道落合浪江線については、落合・大放区間は舗装面の劣化が進んでおり、安全に通行ができるよう早期に修繕を実施するよう要望するとともに、狭隘でカーブが屈曲していて視界が悪いことから、今後道路が拡幅されることを強く要望する。

(⑤ 一般県道落合浪江線)

3 一般県道常葉野川線の改良・整備の促進

一般県道常葉野川線については、平成26年度に完成しているが、カーブが屈曲していて視界が悪いことから、今後道路が拡幅されることを強く要望したい。

(⑥ 一般県道常葉野川線)

以上